

NHK 学園高等学校様

日本放送協会学園高等学校（NHK学園高校）は、昭和38（1963）年、日本ではじめて放送を利用した広域通信制高等学校として開校されました。現在では、東京都国立市の東京本校をはじめ、全国に30以上の学習拠点（協力校）があり、これまで7万名を超える卒業生を送り出してきました。

2015年、時代ごとの状況を鑑みながらも、10年ごとのカリキュラム改訂にも対応し、その後の運用にも耐えられるシステムをということでSchoolDBを導入させていただきました。



新・高等学校システム選定の経緯

NHK学園高等学校 業務局 総務部 靱山 広幸様

私どもNHK学園高等学校の校務システムは、スクラッチ開発により教務ならびに学務関係全般について細かな作業部分まで作り込んだため、カリキュラム改定などの仕様変更が生じた場合、改修するための期間と費用が大きな負担となっており新制度等への対応も難しくなってきました。

そこで、システムのスリム化とより柔軟に対応可能なパッケージソフトの導入検討を進め、教育EXPOなどのイベントや校務システムが紹介されている各社のHPなどから情報を収集してきました。そして、10数社におよぶ選考の中から通信制高等学校が求める主要な機能が装備されているパッケージソフト”SchoolDB”と出会い、多くの学校での導入実績もあることからネクストブレイン社のSchoolDBをベースとしたシステム刷新に踏み切ることとしました。

NHK学園独自のカリキュラムや制度等がありましたが、多くの開発事例から適切な提言もあり、ユーザ要件に沿った柔軟なカスタマイズでの対応によって、当初予定していた機能を全て取り込むことができ、さらには私学就学支援金への対応も可能となりました。（就学支援金対応は制度発足当初から積年の課題でした。）

ハードウェア構成もダウンサイジング可能となり、開発費・HW費用とも安価に新システムを実現することができました。今後は、校務の基幹システムとして活用し、煩雑となりがちであった学園の実務をスリム化するとともに、教職員が生徒指導・教育に専念できる環境を提供できるものと考えております。

SchoolDB を基軸にした新校務システム構築を振り返って

NHK学園高等学校 数学科教諭 保坂 英之様

教員として、基幹システムの運用をしています。本校の業務は大きく分けて教員、事務、レポート管理、教材管理の4部門に分かれており、多様な業務をカバーするために既存のシステムはスクラッチ開発で構築しておりました。しかし、時代の流れとともに学校の体制も変化を問われ、伴って業務のあり方も変化してきました。既存システムでは、それらの業務に対して完全に対応することができず、様々な要因により完全改修の見込みが立たず、刷新の決断をすることにいたしました。新システムの選定はコストの面を意識すると、パッケージソフトが望ましいが、機能の面ではパッケージソフトでは満足できないのではないかと懸念もありました。その点、SchoolDBは、通信制高校の業務をよく理解した上でのパッケージソフトであったため、本校の業務に適應することが可能であり、またNextBrainみなさまの経験に伴う知識から、本校業務のご理解もスムーズに行っていただき、十分なカスタマイズを施していただきました。



教員の立場でSchoolDBの長所とを感じる主なことは、生徒ごとにさまざまな設定（クラス、担任、学費のパターン等）ができること、さらに各機能に連動した生徒検索機能が充実していることだと思います。将来的に学校運営が変化したとしても対応することを見越した拡張性の高さがうかがえるものです。

当初は、スクラッチ開発のシステムからパッケージソフトへの転換ということで多々不安もありましたが、構築されたシステムを操作してみて、今後の学校運営を十分に支えるシステムができたと思っております。多々無理を申し上げたこともございましたが、そのようなことも様々な手法で解決していただき感謝しております。どうぞ今後ともよろしく願い申し上げます。

SchoolDB は導入いただいた学校様から高い評価をいただいております！